



小学校との
連携・協働

こども園との
連携・協働

小中一貫教育でめざす子ども像

- (1) 自分のよさや可能性に気づき、夢の実現に向けて意欲を持ち、粘り強く努力する子ども
- (2) 9年間で、知・徳・体をバランスよくはぐくみ、自分の成長を実感して自ら可能性を広げていく子ども
- (3) 仲間や地域の人たちと積極的にかかわり、自他のよさを認め合い、自分も相手も大切にする子ども
- (4) 瀬戸谷の人・自然・文化・産業等について深く理解し、郷土を大切にする子ども

地域との
連携・協働

家庭との
連携・協働

瀬戸谷らしい「小中一貫教育」の構築

- ・小規模校の強みとコミュニティ・スクールによる地域の教育力を生かす。
- ・小中9年間をつなげ、「小5、6アップ」「中学生サポート」を中心とした多様な学びを創り出し、子どもたちが「わかった・できた」という笑顔あふれる学校づくりを進める。
- ・子ども、教職員、保護者、地域の相互理解から生まれる安心感のもと、よりよい教育活動を展開する。

重点目標

新たな発見・追求



瀬ピア

学びを実感する 授業の推進

子どもの学ぶ意欲を引き出し、新たな自分を発見し、仲間と協働して深い学びを追求していく子ども主体の授業を推進する。

- 授業の内容を理解
R6 81%→ R7 85%
- 授業で自分の考えを伝える
R6 70%→ R7 75%
- (1)「授業で人を育てる」の理念に基づいた子どもが主体的に学ぶ授業づくり
- (2)子どもが自分の成長を実感できる授業づくり
 - ・仲間と練り合い本質を追求
 - ・成長実感へつながる振り返り
 - ・ICTの効果的な活用
- (3)基礎学力の定着、個の探求につながる自主学習の推進

教科指導

個の力を強める

全ての教育活動の中で子どもの良さと可能性を引き出し伸ばす。

以下の資質・能力を中心に高めることで自己肯定感を育み、一人ひとりの力を強める。

自己調整力
自己理解

自他の成長につながる
思いやりの心

仲間と協働して
本質に迫る力

郷土愛

○私には良いところがある

R6 71%→ R7 75%

- (1) 特別支援教育の理念に基づいた個に応じた支援・指導
- (2) 一人ひとりの活躍の場
- (3) 多様性、多面的な見方を育む教育活動
- (4) 自己理解の促進

思いやりの心と主体性を育む 集団活動の推進

人との関わりを通して、自分や仲間の成長につながる思いやりの心を育むとともに、目的意識をもち自分たちで主体的に取り組む集団活動を推進する。

- ピア・サポート活動を意識した生活
R6 95%→R7 100%
- 失敗を恐れずに挑戦 R6 81%→R7 85%
- (1) 自から課題を見つけ、よりよいあり方を目指そうとする力を育む集団活動（異学年集団、小中合同）の展開
- (2) ピア・サポート活動の全教育活動での浸透・推進
- (3) 継続的な地域との連携、校区外との交流によるキャリア教育の充実

教科外指導

縦と横の連携を深め「チーム瀬戸谷」で支援・指導

学年(縦)・分掌(横)の連携を強め、重層的な支援・指導体制を整えることによって、子どもが新たな自分を発見・追求できる環境づくりを進める。

○学校生活が楽しい R6 93%→R7 100% ○瀬中の先生は相談しやすい R6 95%→R7 100%

- (1) 人権意識をもち、学び続ける・磨き続ける教職員集団の構築
- (2) 全教育活動において「自己決定」「相手との関わり」「存在感」「人間的ふれあい」「発達の可能性」を大切にした支援・指導の展開
- (3) 学年部や学習部、特活部、サポート部等の各組織や小学校との密な連携と子どもの表れの日常的な情報交換による効果的な生徒支援・指導（支援員、指導員、SC、SSW、外部機関との連携）
- (4) 生徒の活動を認める場、価値づける機会の意図的な設定(授業・朝帰りの会・集会・掲示・たより等)
- (5) コミュニティ・スクールの充実により、地域の教育力の積極的な活用の推進
- (6) 校務整理、教職員の意識改革等による勤務環境改善の更なる推進

学校運営